

活動報告

団 体 名	逢桜の里
活 動 名	被災した県民の為に里づくり・居場所づくり
活動期間	2017 年 10 月～2018 年 3 月
活動の成果	熊本震災後ひとり暮らしの高齢者の孤立化や、親の帰宅が遅く個食をする子どもが増加しております。当団体はボラサポ九州4期助成をいただき、熊本の小学校区に1か所の居場所を作る事を目標に、地域食堂の3団体を支えながら活動を開催致しました。 私共は、里づくり・居場所づくりとは単に震災後の貧困対策だけではなく「被災した地域コミュニティの醸成の場を拓ける活動である」と考え、繋がりを拓け社会課題解決に努めております。その為、食材の確保や資金集めなどノウハウの共有をすることで被災した熊本住民の居場所を作る活動を14団体と共に「子どもから地域へ拓がれネットワーク」を結成し協力し合っております。 子どもと地域住民の居場所づくりをすることで顔見知りが増え、防犯・防災・非行防止などの地域課題解決にも繋がっていると評価も頂いております。 このことで、活動を共にした2団体が他の助成金を頂けるまでに成長致しました。これもボラサポ九州4期助成のお力添えの賜物と感謝致しております。
寄付者へのメッセージ	第4期ボラサポ九州で助成いただき、逢桜の里（あいらのさと）は熊本市内で子ども食堂・地域食堂を開催している、よかあんばい JAPAN、子どもキッチンブルービー、食育体験！たつだこどもカフェと共に活動させて頂きました。 私たちは熊本の各校区に1か所「里（地域の大人が出来ること、子どもが出来ることをみんなで互助し合う居心地の良い場所）」を作って、安心できる居心地の良い地域づくりを目指しています。 みなさまの赤い羽根を通しての募金・思いのおかげさまで、行政では手の届きにくい社会課題解決に対しての活動を行うことが出来ましたこと、感謝申し上げます。 今日の日本では、様々な社会課題・地域課題が起きています。 直面したことのない困りごとがこれから想定される中、それぞれの思いを持った団体が社会奉仕と社会貢献に取り組めるようこれからも引き続き皆様の応援を切に願います。 逢桜の里へのご支援ありがとうございました。。

（活動のようす）





